

主催：亀田縞えぶろん隊プロジェクト実行委員会



NEXT21アトリウムで行われたファッションショーの出演者



亀田縞の魅力が、新潟の歴史を知るきっかけと仲間づくりになった

亀田縞の布を使ったオリジナルデザインのエプロンを制作し、そのエプロンをユニホームにして、水と土の芸術祭の会場や市民プロジェクト会場でおもてなし活動をした。またその制作したエプロンのお披露目のためにファッションショーを開催した。亀田縞えぶろん隊のメンバーを募ったところ、以前から亀田縞そのものに興味があった方々約30名がすぐに集まった。もともと野良着のための織物だった亀田縞は戦後廃れてしまったが、平成17年に復活したことなどを、このプロジェクトにより知ること、亀田縞の魅力をもっと多くの人に知ってもらって今後廃れないように使ってもらいたいという人が多くいた。亀田縞えぶろん隊のエプロンは、自分で亀田縞の布を選んでデザインし、世界で一つのオリジナルのもので、出来上がった時の喜びは格別で愛着もある。7月15日にNEXT21アトリウムで開催したファッションショーは、200名以上の多

くの方に観ていただき、人気投票など大変盛り上がり大変好評だった。モデルで参加のえぶろん隊のメンバーも皆とても楽しかったと感想を言っていた。エプロンづくり、ファッションショーの開催、おもてなし活動から、メンバーの横のつながりもでき、水と土の芸術祭の会期が終わりに近づいた頃には、今後も亀田縞の魅力を伝えながら、おもてなし活動を続けて行こうということになった。そして水と土の芸術祭の会期後の亀田縞えぶろん隊の活動のために、パンフレットを作った。会期後の最初の活動として、2019年1月18～20日に東京日本橋のブリッジ新潟で開催された、新潟の逸品のセレクトショップを集めたイベントに参加した。今後は亀田縞のオリジナル品をオーダーで作れる仕組みづくりをしていく予定。

(文：佐藤)

- 7月15日(日)～10月8日(月・祝) おもてなし活動(メイン会場、サテライト会場、全国サポーターズミーティング、市民プロジェクト(「醸す」新潟古今逍遥、にいがたりんかいがっこう2018、新潟夏の終わりの砂浜フェスティバル)
- 7月15日(日) 亀田縞えぶろん隊ファッションショー(NEXT21アトリウム)